

# 図書館だより

2025  
1月号

定時制図書館

あけましておめでとうございます  
皆さんに素晴らしい本との出会いがありますように。  
本年もどうぞよろしくお願いたします。

皆さんの「お気に入りの1冊」(大切にしている本、思い出深い本)は何ですか？ 今回はお二人の先生にお聞きしました。

総括教頭 野崎進作 先生

『「迷わない心」の作り方』 稲盛和夫著/羽賀翔一漫画

著者は、鹿児島県出身の京セラ創業者の稲盛和夫さん

(2022年90歳で他界)。

言わずと知れた有名な経営者であり、戦後最大の負債を抱え倒産したJALを回復させた奇跡の人です。

多くの経営者に今でも慕われています。

本書の第4章「君の思いは必ず実現する」中で、「思う」には二つの側面がある。

一つは「思いやりに満ちた優しい「思い」を抱いている人は、知らず知らずのうちに、思いやりに溢れた人間性・人柄・人格になっていく。」、もう一つは、「「思い」の集積が、その人の運命をつくる。」とされています。

稲盛さんは「長い人生の中で、心にどのように「思う」かによって人生まで決まってしまう。」と、その他の章でも、これまでの生き方や考え方の奥深さを痛感させられた一冊でした。



「迷わない心」の作り方  
稲盛和夫著、羽賀翔一漫画  
サンマーク出版

教頭 下大迫 睦美 先生

『わたしのワンピース』 にしまきかやこ作

空から落ちてきた真っ白い布で、うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑を通るとワンピースは花模様に、雨が降ると水玉模様に・・・幼稚園時代の私は、この絵本が大好き！時には白いワンピースに自分で模様を描いてみたり・・・

実は、あんなに好きだったこの絵本のことを、ずーっと忘れていました。大人になり仕事柄、絵本に触れることの多かった私は、ある時書店で、この本が目にとまりました。

その途端、小さかった頃の記憶が蘇えり、早速購入し、何度も何度も読みました。

当時は、周りの情景に合わせて柄が変化するお話を、次は何かな？次は何かな？とワクワク、ドキドキしながら読んだものです。

うさぎさんがミシンでワンピースを縫う姿に憧れ、もしかしたら私が裁縫好きなのは、ここからきているのかしら？と試してみたり。



わたしのワンピース  
にしまきかやこ作  
こぐま社

大人になってからもワクワクさせてくれるこの絵本が大好きです。

この本の解説では、真っ白なワンピースが、うさぎの体験によって様々な模様が変わっていく様子は、まるで最初は真っ白だった心が、いろいろな体験によって喜びや悲しみといった様々な感情を知る様子を表しているようだとあります。

この絵本は幼児向けではありますが、喜びや悲しみなど自分が感じる様々な感情はどれも自分にとって共に寄り添い生きていく大切なものであることを伝えてくれる一冊です。

## 皆さん、図書の返却は済みましたか？

借りている本について、入年次・中間年次の皆さんは2月27日（後期最終授業）までに返却をお願いします。

卒業予定の皆さんは1月31日(金) までの返却をお願いします。

進路関連の図書を借りたい等のご要望がありましたら、司書に相談してください。

## 新着図書紹介（34冊）



019

『「読み」の整理学』外山滋比古著  
筑摩書房刊  
取扱説明書や役所の書類など、読んでもなかなか頭に入らない経験はありませんか？自分が未経験のことを読むのは難しい反面、知っていることを読み理解することは比較的簡単です。未経験のことを読む「ベータ読み」と、知っていることを読む「アルファ読み」の2種類の読み方を使い、名著『思考の整理学』の著者が伝授する〈読み方〉の極意。



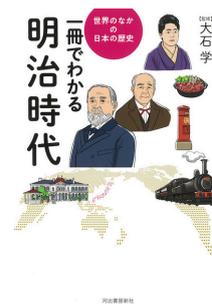
126.6.

『あるがままの自分になる』  
相川圭子著 幻冬舎刊  
「本質である、あるがままの自分は、愛に満ちていて、知恵があり、生命力にあふれています。（中略）本当の自分つまり、あるがままの自分になることこそが、人間がこの世に生を受けた理由であり、生きる目的なのです。」（序章より）ヒマラヤ大聖者・ヨガマタ相川圭子さんが、葛藤しながら幸せを求める人々の悩みに応える形で伝える救いの言葉。



291

『地名の魔力』今尾恵介著  
PHP研究所刊  
田舎臭いので変えられた地名、「墓地前」「蛇」ではアレなので変えられた地名、「マツザカギユウ」の読みにイラっとする松阪市民？消えた東京の地名など、40の「地名」にまつわる摩訶不思議なエピソードの紹介。



210.6

『一冊でわかる明治時代』  
大石 学著 河出書房新社刊  
明治時代とはどんな時代か。東京遷都・版籍奉還・文明開化・内閣制度・憲法制定・日英同盟・日清日露戦争・韓国併合・新政府成立・自由民権運動…図やイラストを使いわかりやすく、外国との関わりもわかる。



331

『経済学なんて教科書だけでわかるか！！』  
さくら剛著 三笠書房刊  
ドラクエの世界で「景気対策」をやったらどうなる？  
インドのぼったくりタクシーで「神の見えざる手」を検証してみた。  
『景気』『GDP』『金融緩和』『株・投資』…etc. ちょっと気になるけど難しそうな経済学の用語が、身近な例え話でわかりやすい。



372.389

『フィンランドの高校生が学んでいる人生を変える教養』岩竹美加子著  
青春出版社刊  
世界幸福度ランキングで7年連続1位のフィンランド。学校には「良く生きるための授業」がある。心理学、社会学、政治学、哲学など様々な分野を横断しながら、人生観を育むための知識と教養を得る「人生観の知識の授業」。「良い人生とは?」「生きる意味はどこに?」等の問いに答えを探す独自の授業、そしてその教科書から、幸せに生きるヒントを探る。



361.45

『言ってしまったやってしまったをリカバリーするコツ』  
山本依奈子著 日本実業出版社刊  
ありそうでなかった「話した後」になんとかする、コミュニケーション術の本。心理学や多くのケースをもとにみんなが困る日常の場面などシチュエーションごとに正解とNGパターンを紹介、さらに「NGをリカバリーする術」をわかりやすく解説



470

『もっと美しき小さな雑草の花図鑑』  
大作晃一写真/多田多恵子文  
山と溪谷社刊  
「えっ!? あの雑草の花って、こんなにきれいだったの!」NHK BSプレミアム「美の壺」でも絶賛された驚きと発見のベストセラー『美しき小さな雑草の花図鑑』の待望の第2弾出版!  
第1弾に続き、身近な雑草たちの知られざる美しい姿を超クローズアップ写真&深度合成で紹介。



377.6

『在日コリアンが韓国に留学したら』  
韓 光勲著 ワニブックス刊  
生まれも育ちも大阪の在日コリアンの著者が、30歳にしてK-POP好きという「今っぽい理由」で決めた韓国留学の体験記。  
日本と韓国の狭間を生きてきたからこそ見える韓国という国の内側に迫る1冊。



590.4

『人生が豊かになる感性の育て方』  
Wako著 イースト・プレス刊  
著者は女性誌などでも活躍中のライフスタイルプロデューサーのWakoさん。「旅するように生きてみる」を提唱する著者による、人生における感性を育むためのヒントが詰まった1冊。  
感性は時間やお金をかけて育むものではなく、いかに「自分の喜ばせることのできる人間」になれるかがポイント



673.3

『営業の神様ヤマナシさんが教えてくれたこと』早崎郁之著  
SBクリエイティブ刊  
本書はダメ営業マンが「営業の神様」の教えにより、苦悩ながらも成長していく感動サクセスストーリー。  
営業の神様から教えてもらったのは、単なるテクニックではなく、仕事、そして人生を成功に導く大切な教えだった。



490.1

『人生があと200日で終わるとしたら』  
林 良彦著 文芸社刊  
ある日突然、自分が余命いくばくもないということを知らされたミュージシャンは、どんなふうに自分の人生を見つめ、どんな思いに至り、人生のフィナーレを迎えたでしょうか。「緩和ケア」という、終末期の患者さんに向き合う医師の目を通して、「生きる」こと、そして「死ぬ」ことを深く考えるきっかけになってほしいと願う一冊。



292.5

『インド工科大学マミ先生の ノープロブレムじゃないインド体験記』  
山田真美著 笠間書院刊  
インドの人はよく「ノープロブレム」と口にするが、著者が出会ったインドの人や出来事はまったくノープロブレムではなかった。著者の44年間のインド体験から、発展し続けるインドの現状と底力と不思議なインドの魅力を感じられる1冊。読むだけでインドを旅した気分。



491.3

『絵でわかるにおいと香りの不思議』  
長谷川香料著 講談社刊  
私たちは普段の生活において多くのにおいや香りに囲まれている。その世界を化学や生物、脳科学、歴史、工業などあらゆる角度から紹介。本を読みながらにおいと香りの不思議な世界を体験できる1冊。



592.7

『DIYでつくる収納』玉井香織著  
ナツメ社刊  
新たな収納スペースを見つけ活用するためのアイテムづくりをやさしく解説! 家中の収納スペースの見つけ方を紹介した後、スペースにあった収納アイテムの作り方、押し入れをより活用するための収納アイデアを、初・中・上級とレベル毎にていねいに解説。巻末にはDIYを安全に楽しむための基本テクニック解説。



641.7

『牛乳から世界が変わる』小林国之著  
農山漁村文化協会刊  
「わかる」ことは「かわる」こと!  
酪農を知れば、世界がわかる「座学編」  
牛乳が生まれる現場を歩けば、見える世界がかわる「実践編」  
酪農の現場を15年歩いてきた著者が伝えたい、酪農家から教わったこと、一杯の牛乳から見えてくる、君と世界をつなぐ物語



686.2

『新幹線60年大百科』南 正時著  
イカロス出版刊  
2024年10月1日で、東海道新幹線は開業60周年を迎えた。新幹線を撮り続けた鉄道写真家南正時が、すべての新幹線車両を回顧、60年間の貴重な写真とエッセイで綴る一冊。新幹線開業以前の貴重な写真も満載。



726.5

『お絵かきぐらしのはじめかた』松村上久郎著 ホビージャパン刊  
数々の絵師の悩みに応えてきた『辛くない絵の描き方』（秀和システム刊）の著者・松村上久郎が、具体的に「絵を描くことで暮らしていく」方法を解説。企業案件に頼らずに絵を売る術を、シンプルかつストレートな内容で学ぶ一冊。



762.1

『不登校クエスト』内田拓海著 飛鳥新社刊  
小・中学校9年間、1日も通学せず、高校からピアノを始めて藝大に入った26歳作曲家が考える「自分で学ぶ力」「自分の生きる道」の新しい見つけ方&育て方。生きづらさに苦しむ子ども自身はもちろん、子どもの教育、学校との向き合い方に悩む親の背中を押してくれる「人生を切り拓くヒント」満載の一冊。



816

『一度読んだら絶対に忘れない文章術の教科書』辻 孝宗著 SBクリエイティブ刊  
「文章を書くのが苦手……」「何を書いていいかわからない」人必読。「新感覚」の文章術の教科書。3つのステップで文章を書くと、文章を書くのが苦手な人でも「伝わる」「うまい」文章がスラスラと書けるようになる。仕事や資格試験、大学受験など、あらゆる場面で役立つ文章力が身につく1冊。



913

『木精（乙女の本棚）』森鷗外著/いとうあつき絵 立東舎刊  
森鷗外の名作が、書籍の装画やCDジャケットなどで知られるイラストレーター、いとうあつきによって描かれる。名作文学と現代の美しいイラストのコラボレーション。全イラスト描き下ろし



913

『駆け込み訴え（乙女の本棚）』太宰治著/ホノジロトラジ絵 立東舎刊  
太宰治の名作が、有名ゲームのキャラクターデザインなどで知られるイラストレーター・ホノジロトラジによって描かれる。名作文学と現代の美しいイラストのコラボレーション。



913

『黒猫（乙女の本棚）』ポー、エドガー・アラン著/斎藤寿葉訳/まくらくらま絵 立東舎刊  
ポーの名作が、アンティークのような不思議な魅力を放つイラストで話題のイラストレーターまくらくらまによって描かれる。名作文学と現代の美しいイラストのコラボレーション。



913

『せかいいちれいぎただしいかいじゅうボンバルボン』キューライス著 小学館刊  
ザバーン！——ある日、海から大きな大きな怪獣が現れました。町は大さわぎです。ところがこの怪獣、とても礼儀正しくて…！？  
すぐく良い子なのでよろしくお願ひします。



914.6

『お金の減らし方（新版）』森 博嗣著 SBクリエイティブ刊  
『すべてがFになる』や『スカイクロラ』で知られる人気作家・森博嗣が、自らのお金との付き合い方を振り返りながらお金の本質を解き明かす。お金というレンズを通して、読者の人生に深く問いかける。投資家やFPでは決して語ることのできない、これからの生き方を考える「お金の哲学」。



210

『空白の日本史』本郷和人著 扶桑社刊  
本書で著者は、日本史の中に潜む、九つの歴史的空白を取り上げ、独自の解釈でその「穴」を埋めていくという試みを行っています。その「空白」を見つめることで、新たな「日本」という国の歴史像が浮かび上がってくるはず。



『わたしをご機嫌にする ブッタの教え』	TJ MOOK	宝島社	181	怒りでイライラしたり、もやもやとストレスを溜めたりせずに生きるヒントを、ブッタの教えから学ぶ。日常のどんなシーンでブッタの教えを取り入れ心を整えるのか、イラストを用いてわかりやすく解説しており、今日からすぐに実践できる。
『結局、否定しない人ほど うまくいく』	吉田幸弘 著	永岡書店		信頼関係を深めるコツは、相手を「ほめる」よりも「否定しない」こと！本書は、「否定を避ける方法」「怒らない方法」を紹介。「否定的な伝え方」から「否定しない伝え方」への言い換え例をシチュエーション別に多数紹介している。
『世界一やさしいむし歯 の教科書』	松尾晋吾 著	ホリスティック ライブラリー出版	497. 2	真実は「砂糖は歯を強くする！」だった。「砂糖でむし歯になる」という神話をくつがえす！「なぜ歯を強く保つのに砂糖が必要なのか！」ということ、リアルサイエンスからわかりやすく解説。
魚を味わう	森 朝奈 著	マイナビ出版	596. 3	魚屋さんが教える魚の魅力と美味しい食べ方～知れば知るほど楽しい、美味しい魚・面白い魚、珍しい魚から魚の目利き、さばき方、最適な料理法まで。
LEGO 木工所から世界 No.1玩具メーカーへ、90 年間のストーリー	アンダー セン、イ ェンス他 著	楓書店	589. 7	「遊びを創造する」という壮大な目標のもとに、小さな町工場からスタートし、何度も倒産の危機を乗り越えて世界的なおもちゃメーカーへと成長、子どもから大人まで夢を与え続けるLEGOの90年の歴史。
言の葉配色辞典	ingectar- e他著	インプレス	757. 3	日本の美しい言葉から連想した配色アイデアを紹介。情景、感情、天文、季節、自然、時間の6つのテーマで様々な言葉を収録し、その言葉の意味とその言葉を表した配色を収録。イラスト、マンガ、デザイン等の創作や、小説や短歌、俳句、シナリオ、歌詞、写真撮影のアイデア集として活用できる。
マンガでわかる漢字熟語 の使い分け図鑑	北澤篤史 著	講談社	814. 4	248組の漢字の二字熟語について、適切な用例で使い分けを解説。マンガと解説・例文で分かりやすく、50音順で探しやすい。
ぼくのへや	伊藤ハム スター作	KADOKA WA	913	どうしても、人とくらべてしまうあなたに、人の物がうらやましくなってしまうあなたに、自分に自信の持てないあなたに贈る、おっとりあらいぐまの自分さがしの物語。